

2026年6月16日
 Hong Kong Aircraft Engineering Company Limited
 SUN GROUP CORPORATION
 豊田通商株式会社
 日本航空株式会社

**HAECO、Sun Group、豊田通商、JAL
 ベトナム・ヴァンドン国際空港において航空機 MRO 事業を共同実施
 — 総額 3 億 6,000 万米ドル投資、2028 年稼働予定 —**

Hong Kong Aircraft Engineering Company Limited (HAECO)、SUN GROUP CORPORATION (Sun Group)、豊田通商株式会社、日本航空株式会社 (JAL) の 4 社は、2026 年 6 月 16 日、ベトナム・クアンニン省のヴァンドン国際空港において、総額 3 億 6,000 万米ドル規模の航空機整備・修理・オーバーホール (MRO) 複合施設の運営を目的とする合弁会社の設立について合意いたしました。



1. プロジェクトの概要と各社の役割

本プロジェクトで開発する MRO 複合施設は、2028 年の稼働開始を予定しており、ヴァンドン国際空港内の約 20 ヘクタールの敷地にワイドボディ機 4 機およびナローボディ機 2 機を同時に受け入れられる、ベトナム最大級の航空整備拠点となります。4 社が持つ強みを結集し、急成長する東南アジアの航空需要を取り込むとともに、国際水準の MRO サービスの提供を目指します。

- HAECO : グローバル MRO 事業者としての高度な整備技術および運営ノウハウの提供
- Sun Group : ベトナムにおける空港開発・インフラ整備を含む航空関連事業の実績を生かした基盤構築
- 豊田通商 : グローバルサプライチェーンの構築・運営およびアライアンス事業の推進
- JAL : 安全・品質を基盤とした運航・整備ノウハウの提供および人材育成支援

2. 市場背景および事業意義

東南アジアは世界で最も成長が著しい航空市場の一つであり、なかでもベトナムは航空需要の拡大に伴い、航空機整備の需要が供給能力を上回る勢いで拡大することが見込まれています。

ベトナム民間航空局によれば、同国の MRO 市場は 2030 年までに約 74 億米ドル規模に達する可能性がある一方、現在は航空機 MRO 機能がシンガポールやマレーシア、タイなどの一部の国に集中し、ベトナム国内の整備機能では需要の拡大に対応できていません。

本プロジェクトは、こうした課題解決を図るとともに、ベトナムにおける航空整備能力の高度化と技術的自立を目的とするものです。

また、建設地であるクアンニン省およびヴァンドン地区は、観光・サービス・物流に加え、高付加価値産業の誘致を積極的に進める新たな成長拠点として期待されています。本施設の建設により、地域雇用の創出や関連産業の集積を促し、地域経済の発展にも寄与します。

3. 今後の展望

本 MRO 複合施設は、ベトナムにおける航空機整備能力を国際水準へと引き上げ、ベトナムがグローバルな航空バリューチェーンにおいてより高付加価値な領域へ参画するための重要な足掛かりとなります。

4社は、本プロジェクトを通じて、航空インフラ、整備技術、運航ノウハウそして産業ネットワークを融合させ、持続可能な航空エコシステムの構築と安全・安心な航空社会の発展に貢献してまいります。

<参考>各社の概要

■ HAECO

HAECO Group は、航空機の整備・エンジニアリングサービス分野における世界有数のプロバイダーの一つです。1950年に設立され、機体整備、ライン整備、装備品オーバーホール、構造体修理、ランディングギアサービス、エンジンサービス、グローバルエンジンサポート、部品製造、技術トレーニングに至るまで、包括的なソリューションを提供しています。

同グループは14の事業会社で構成され、香港、中国本土、欧州、米州において約15,000人の従業員を擁しています。詳細は公式ウェブサイト www.haeco.com をご覧いただくか、[LinkedIn](#), [X](#), [WeChat](#) にて最新情報をご確認ください。

■ Sun Group

2007年に設立された Sun Group は、観光、エンターテインメント、ホスピタリティ、不動産、インフラ、航空といった分野において統合型エコシステムを展開する、ベトナム有数の民間企業グループです。“enhancing beauty to the lands”という使命のもと、ベトナム各地において象徴的な観光地の創出に大きく貢献してきました。

同社のポートフォリオには、「Sun World」をはじめとする世界的にも認知された観光・ホスピタリティ事業が含まれています。航空分野においては、空港インフラへの戦略的投資や、フーコックを中核拠点としたハブ&スポーク型ネットワークを構築する Sun PhuQuoc Airways を通じて事業拡大を進めています。また、フーコックにおける APEC 2027 を支える主要インフラプロジェクトにも取り組んでいます。

このような統合型エコシステムのアプローチを通じて、Sun Group はベトナムの中長期的な社会経済発展および国際的なアクセスの向上に貢献しています。

■ 豊田通商

豊田通商株式会社は、トヨタグループの総合商社として、メタル+、サーキュラーエコノミー、サプライチェーン、モビリティ、グリーンインフラ、デジタルソリューション、ライフスタイル、アフリカの8つの事業領域でグローバルに事業を展開しています。

自動車分野を基盤に、再生可能エネルギーや資源循環、アフリカ事業など成長分野への取り組みを強化し、社会課題の解決と持続可能な社会の実現に貢献しています。詳細は公式ウェブサイトをご覧ください。 <https://www.toyota-tsusho.com/>

■ 日本航空 (JAL)

日本航空 (JAL) は、1951年に設立され、oneworld®アライアンスのメンバーとして、2026年3月時点で234機の航空機を所有し、提携パートナーとともに世界71カ国・413空港へのネットワークを提供しています(*)。

Skytrax 社の“5-Star Airline”、北米を拠点とする航空非営利団体 APEX の“World Class”にも認定、世界トップクラスのエアライングループの一つとして、安全を基盤に「JAL ビジョン 2035」の実現に向けて新たな歩みを進めています。

ブランドスローガン「Soaring Together」のもと、日常も含めたあらゆるシーンで「五感をくすぐる本物の体験・新たな一歩への後押し・人生を豊かにするつながり」を、お客さまに感じていただけるエアライングループを目指しています。

詳細は Web サイトをご覧ください。 <https://www.jal.com/ja/>

(*)グループ航空会社を含むネットワークを記載しています。